

日野総合事務所だより



「黄金色に染まる御机(江府町御机地内)」
かつてこの集落の上には大山南麓を米
作不毛の畑地から水田に変えた米金井手
が流れていた。

撮影:土井一寛

Contents

もへり	(連載)地域の自立「鳥取ルネッサンス」の話 …… 2	災害関連レポート …… 13
	県民局 …… 3~5	西部教育局日野郡地域教育担当 …… 14
	福祉保健局 …… 6~7	郡民会議 …… 15~17
	農林局 …… 8~9	日野高校 …… 18~19
	県土整備局 …… 10~12	お知らせ …… 20~24

地域の自立「鳥取ルネッサンス」の話

(第20回)



鳥取ルネッサンス
地域の自立と再生を!

一、はじめに

竹はかつて、竹細工、食料（タケノコ）などに多く利用されてきましたが、今では、竹細工はプラスチック製品に変わり、タケノコは輸入品にされる割合がほとんどです。その結果、竹林の管理が十分となり、竹はその繁殖力から造林地、畑に侵入し、各地で人々を悩ませています。

二、柿原での竹炭

生産の取り組み

江府町の柿原集落でも、このような問題が発生し、竹の有効利用を行うため、平成六年から集落全戸が参加し、竹炭の生産に取り組んだところ、住宅の調湿材などに多くが販売されました。また竹炭生産

竹炭生産で地域振興

江府町柿原集落での取組

の副産物である竹酢液を使った家庭用洗剤も手にやさしいということでもよく売れ、平成九年には地域貢献で自治大臣から表彰を受けています。

三、竹炭の新たな

販売方法の模索

しかし近年は竹炭の販売もやや減少傾向となり、今年になってからは、集落、町、県



竹炭講習会の様子

で何度か販売戦略等について検討会を開催してきました。



洗剤



竹酢

その中で土壌改良材として販売できないかということになり、現在園芸試験場日南試験地で野菜への施用試験が行われています。

また竹炭の品質向上を目的に、七月十六日、福井県の小浜竹炭生産組合の鳥羽曙氏を講師に招き、講習会を開催しました。集落からは約四〇名

が参加し、実際に炭を焼き、窯への竹の詰め方などを学習しました。

今後は竹酢液の品質認証取得による高付加価値化、広報誌、テレビ、ホームページ等によるPR活動などを実施していく予定です。

四、お問い合わせ

竹炭製品の価格等につきましては、左記までお問い合わせください。

柿原の竹炭製品

品名	容量
竹炭	3 kg
台所用洗剤「竹ピカ」	600mL
竹酢	1 L
竹炭の粉	500mL

竹炭製品のお問い合わせ先
柿原竹炭生産組合
会長 加藤愛敬
0859-75-2656

問い合わせ先

農林局 林業振興課
前野洋一
農業改良普及所
池岡進
電話 0859-72-2020



外 観

今回は、自動車関連製品を製造されている、日野町の「有限会社宮田ハーネス」です。
☆ハーネスって？
 ハーネスとは基盤と機器本体を接続する配線のことです。主にワイヤー（電線）を使用していることから、ワイヤーハーネス（すぐに取り付け可能な電線や情報回路をコンパクトに束ねたもの。）とも

シリーズ 日野郡の 元気な会社 (第7回)



言われています。
 これらは多くの家電製品や工場用機器等に幅広く使われていますが、日野町の(有)宮田ハーネスは自動車用のハーネスを製造している会社です。



市内の様子

「当社は昭和五十一年会社発足以来自動車用ハーネスの製造に取り組んでまいりました。昔は太いワイヤーが主流でしたが、最近ではカーナビゲーション、テレビ等の装着により、ワイヤーの極細化や多品種化・複雑化となり様々な注文を受けるようになりました。良い商品を、安く、早くを“モットー”にMQA活動(私のした仕事の品質は私が保証します)を理念として品質管理に対して厳しく対応しております。また、5S(整

理・整頓・清掃・清潔・躰)を徹底することにより作業工程の改善など無駄を省く取り組みや、コスト低減を徹底し、品質の良いものを納品した結果、納品先の矢崎部品(株)様より優良工場として多年に渡り表彰を受けております。
 現在、一日に7万本加工しており、三菱自動車を中心として、ほぼ全ての大手自動車メーカーに使われています。」と語る宮田義人社長。



ワイヤーハーネス製作中

☆世界を見据えて

「大手自動車メーカーが海外進出される際にはハーネス製造会社も後を追うように進出します。自動車関連会社は、たとえ田舎にある会社と言えども世界を見据えて仕事をしなければなりません。国籍とか人種による差別意識

等があると仕事になりません。当社では現在中国人研修生を受け入れている外、他の国籍の従業員も採用しておりますし、※母子家庭の母等の受け入れ企業として県へ登録するなど、良い人材を積極的に採用しております。」

企業データ

(有)宮田ハーネス
 代表者 宮田 義人
 所在地 日野町本郷2261-2
 電話 0859-72-1636
 F A X 0859-72-1636
 http:// —
 e-mail —

※鳥取県では母子家庭の母等への無料職業紹介を行っています。

日野総合事務所では福祉保健局に母子自立支援員を配置し、ひとり親(母子・父子)家庭や寡婦の方から各種相談をお受けしています(詳細については6頁をご覧ください)。職業相談・職業紹介にあたり、受け入れ可能な企業を随時募集しております。

問い合わせ先

県民局 県民課
 電話 0859-72-2085
 担当 永見 将

日野郡の歴史セミナー

金持神社

三神が祀られる三体妙見宮



金持神社本殿

金持神社（かもちじんじや）には天常立命（あめのとこたちのみこと）・八東水臣津努命（やつかみずおみつぬのみこと）・淤美津努命（おみつぬのみこと）の三神が祀られ三体妙見宮と云われています。

【伝説】

弘仁元年（八一〇年）、出雲国

妙見宮の神官の二男が、伊勢神宮

参拝のためこの地を通りかかったところ、お守りとして身につけていた神前の目付の玉石が急に重くなりました。そして、この地に宮造りするよう神夢があったので、宮造りしたと伝えられ、「妙見さん」と云われるようになりました。

【金持の語源】

日野郡は古くから、たたら製鉄の産地として知られていました。金持も砂鉄が採れる玉鋼の産地で、昔は鉄のことを金と読んでいたことから、金の採れる谷を多く持っている郷、「金持」（かなぢ・かもぢ・かもち）と称されるようになったと云われています。

【金持景藤】

後醍醐天皇を中心とした勢力による鎌倉幕府討幕運動として知られる元弘の乱（一三三一〜一三三三年）の船上山の戦い（一三三三年）において、隠岐の島を脱出させた後醍醐天皇を奉じて、名和長年が船上山に挙兵したとき、太平記には「金持の一党三百余騎」と

の記述があります。

このような記録から、金持景藤が名和氏とともに船上山の戦いで大活躍をしたと考えられています。金持景藤は、この戦いの出陣前に金持神社で必勝祈願をし、神前の戸帳を錦の御旗にしたと伝えられています。

金持神社から1kmほど国道一八一号沿いに行くと、小高い丘の上に金持景藤の墓と伝えられる高



宝篋印塔

さ1mの宝篋印塔（※参照）があります。塔の前には「元弘忠臣金持景藤朝臣墳墓伝説地」と記した木標があり、これは日野郡神職会

が昭和六年に建てたものです。塔の様式は室町末期のものと云われています。

※宝篋印塔

（ほうきよういんとう）

方形の石を数段積み上げたもので、供養塔・墓碑塔として建てられました。戦国の武将が自らが帰らぬと予想する戦に臨むにあたって建立したのもあるといわれています。郡内では日南町印賀に大規模な宝篋印塔があります。

【最近の金持神社のにぎわい】

縁起のよい名前です全国的に有名になった金持神社には、観光バスなどでたくさんの方々が参拝客でにぎわっています。本年四月には日野町観光協会の運営する売店もできました。

監修 川上 護 氏

（日野町歴史研修会副会長）

問い合わせ先

県民局 県民課
電話 085917212083
担当 別所秀典

正滝 (しょうたき)



三番目の滝。これから先、旧道は未だ笹藪の中。

小滝 (こたき)



一番目の滝。蔵美術館から徒歩約15分。

童洞ヶ滝 (どうどうがたき)

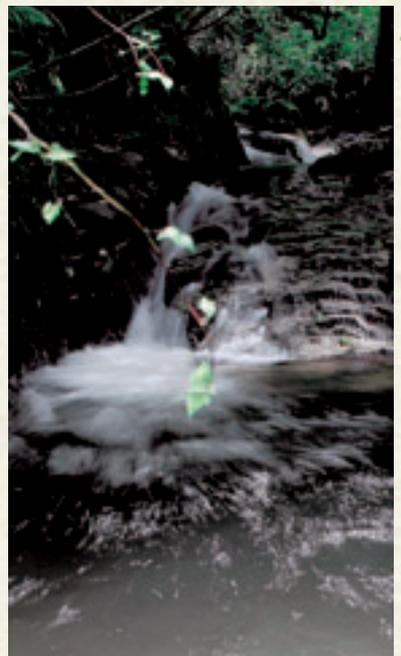


二番目の滝。昔このあたりに幼くして亡くなった子供を葬った童洞寺があったと伝えられる。

五つの滝があるというが、近年旧道は人通りも途絶え笹に覆われ、見たという人を聞かなかつた。このたび地元ボランティアにより背丈ほどに伸びた笹刈りが行われ数十年前ぶりに上菅五滝が姿を現した。

奥日野秘峡
上菅五滝

かつて都合谷たたらから鉄を運び出した道、奥日野の上菅から新見に通じる旧里山備中街道沿いには都合谷川が流れる。この谷川には



ししヶ滝 (ししがたき)

五番目の滝。ししヶ滝についてはこの滝ではなく都合谷川支流にあるとの説があるが未確認。

取材協力 小谷博徳・山田利美・小谷延明・窪田含(敬称略)
担当 県民局県民課 十井一寛 電話 0859・72・2085



蔵美術館



滝についての詳細・ご案内は蔵美術館(小谷氏) 0859・74・0136までお問い合わせください。



日野神社参道付近にあった道標。「備中新見八里」とある。



都合滝 (とこうたき)

四番目の滝。森の中に広大な空間が広がる。長年月人の立ち入った気配がない。奥日野の秘峡。

母子自立支援員

をご存じですか？

どんな仕事をしているのですか？

母子自立支援員とは、ひとり親（母子・父子）家庭や寡婦の方が抱えているいろいろな困りごとについて、相談や支援を行う職員です。相談・支援内容は、生活全般に關してのことですが、特に「生活安定のための母親の就職」や「子供の修学支援などを図るための母子・寡婦福祉資金の貸付」などです。

日野郡の担当は、篠田 尚子しのだ なおこ です。

どうして仕事をしているのですか？

日野総合事務所 福祉保健局で勤務しています。



どのように相談したらよいのですか？

相談方法としては、「直接、日野総合事務所までお越しいただく方法」、「電話での相談」、「母子自立支援員が、ご自宅等へお伺いする」という三つの方法があります。

かたく秘密は守られます。どんな小さなことでも構いません。お気軽にご相談ください。

問い合わせ先

福祉保健局 福祉総務課
電話 0859・72・2034
担当 篠田 尚子 手嶋 喜久江

森・じじろの健康まつり

みんなで広げよう！森と清流の里から始まる心の輪

このまつりは、こころの健康や精神障害などに関する正しい知識を学び、理解を深めるとともに障害者と楽しく交流することで偏見を解消し、障害者が安心して暮らせる町づくりをめざしています。

平成15年度から郡内各町で開催していますが、今年度は日南町で開催します。地域の方々にもご参加いただき、楽しい交流とリフレッシュの場になりたいと考えています。

日時 平成18年10月14日(土)

午前11時から午後4時

場所 日南町総合文化センター(日南町霞)

《主な内容》

- ・作業所等バザー
- ・作業所・郡内文化団体のステージ発表等
- ・郡内小規模作業所等の紹介
- ・郡内精神障害者・支援者による意見・作品発表
- ・レクリエーションによる交流
- ・パネル展示

作業所等のバザー

午前11時から午後1時まで(予定)
おしとじ作業所 おしとじクッキー等
日南町作業所一歩
カレー、ケーキ、自主製品等
セルフビの 木工製品等
いんくるサポート 木工製品、手芸

ステージ発表参加予定

おしとじ作業所、日南町作業所一歩
セルフビの、いんくるサポート
その他、郡内の方々のコーラスや楽器の演奏も予定しています。



◎どなたでも無料で参加できますので、ぜひ皆様お誘いあわせの上、御参加下さい。

問い合わせ先

福祉保健局 保健衛生課
電話 0859・72・2037
担当 吉田 真希子

もっと体を動かそう

介護予防を実践して

心も体も豊かな毎日を!

体を使わないと筋力が弱ったり、関節が動かしにくくなります。年齢を重ねてからでも、鍛えることによって筋力を保てたり、向上させることができます。また、運動をすることは筋肉や骨の老化を防ぐだけでなく、心臓や脳の神経をよい状態に保ちます。毎日散歩をするなど積極的に体を動かすように心がけましょう。

ポイント①

毎日、できるだけ外に出て歩く。
・散歩・ウォーキング など



ポイント②

生活の中で出来るだけ体を動かす。
・家事やテレビをみる時
・入浴時 など



ポイント③

筋力アップの運動を毎日5分程度続ける。
・肩や腕の上げ下げ・椅子に座って膝のぼし
・かかとの上げ下げ・腹筋運動 など



※関節の痛みや病気のある場合は主治医の先生に相談されるよう、おすすめします。

問い合わせ先

福祉保健局 保健衛生課
電話 0859-72-2036
担当 阿部 暁子

運動普及の取り組み紹介シリーズ① (今回は江府町です。)

日野町ぽかぽか教室

日野町でも各町でいろいろな運動普及の取り組みがされています。日野町では、地域支援事業(介護予防)として町内12ヶ所で「ぽかぽか教室」を実施しています。介護が必要とならず生き生きとした老後が過ごせるよう、自治会や老人クラブを対象に地域の活動を支援する取り組みを行っています。

運動指導の「ぽかぽか筋力アップ教室」ではチューブ体操を主に、自宅でも続けることが出来るよう、手作りのチラシが配布され、参加者にも好評です。

今年度実施内容

- 運動指導 ストレッチ体操・筋力向上チューブ体操など
- 体力測定 長座体前屈・握力・開眼片足立ち・歩行速度など
- 調理実習 食生活バランスチェック・調理実習など
- 手細工等 籐細工・絵手紙・ちぎり絵・ニュースポーツなど
- 歯科指導 歯と口の手入れ・お口の体操など



チューブ体操で筋力アップ
(H18.8.21:菅福公会堂)



自家製夏野菜を使った料理
(H18.8.22:奥渡公民館)

地域の特産物

日南町のもち米

一、県内唯一の国の指定産地

日野郡は、山間地に位置することから昼夜の気温差が大きく、夏場には夕立など適当な降雨があるなど、米が成熟する時期の気象条件にも恵まれています。そのため、米の太りも良く、非常に品質の高い米が生産されており、古くから米どころとして知られています。

日南町内で主に生産されているもち米は「ヒメノモチ」と呼ばれる品種で、特徴としては、つくと柔らかくて味が良いため、モチだけでなく、おこわや菓子原料など、様々な用途で加工されており、鳥取県におけるもち米出荷量の八割を占める県内一の産地となっています。

平成六年には国の「もち米生産団地育成事業」の指定を受け、地域の特産品として生産拡大を進めてきましたが、平成十二年を境に、縮小を続け、平成十五年には九十ha強にまで減少しま

した。

二、日南町もち米生産部会の設立

そして、平成十六年。この年から始まった新しい米政策では、「売れる米づくり」が重要なポイントとなり、多様な消費者ニーズ・実需者ニーズに応えられる柔軟な生産体制が必要となってきました。

そこで、県内外から品質・食味ともに評価が高い日南町のもち米を“全国に通用する産地ブランド”にしようと、「日南町もち米生産部会」が、平成十六年三月に設立されました。

三、ブランド化をめざす取り組み

その後、平成十八年は約三百四十名で、約百二十haに作付けも増加しました。

その活動は、①消費者や加工業者のニーズにあった「ヒメノモチ」の作付統一と計画的生産、②一等米比率向上を目指した、生産技術の確立(刈取適期の確認などの確立、③地域の仲間

づくり、④生産履歴を明らかにして「安全・安心」なもち米を生産していくとともに、より多くの消費者に親しんでもらおうと、県内外や量販店でのもちつきなど、積極的にイベントを実施しています。



(写真は米子市内のスーパードの餅つきの様子。)

また、米の卸・販売・加工業者などへのあいさつ回り、ダイレクトメール発送などにより産地のPR活動も行い、「産地のブランド化」をめざした活動に取り組んでいます。

四、これからの目標

目標面積は百五十ha。産地の誇りを持ちつつも、産地の思いや価値観だけでなく、消費者の視点を積極的に捉えながら、更なる活動を積み上げていく予定です。



問い合わせ先

農林局日野農業改良普及所
電話 0859-72-2027
担当 森岡宏顕 越葉麻美

第9回全国和牛能力共進会鳥取県大会 出品対策 進捗状況

平成19年10月11日に米子市を中心に開催される第九回全国和牛能力共進会（以下、全共）まで、400日を切ったところです。
全共の進捗状況を心配いただき声をよく耳にしますので、今回はその進捗状況を報告させていただきます。

来年に開催の迫った全共は、全部で九の出品区に別れ、全国から約500頭の牛が集まり、その優秀さを審査するものです。この中で、鳥取県は全ての区に出場することを目指し、昨年初めには生産者の方々に指定交配を、お願いし分婉しているところです。

候補牛の選定状況は、下記の図のとおりですが、早いところは4月の下旬に肥育農家に素牛が渡されて最終選抜に残るよう研鑽されている出品区もあります。全体では鳥取県で**19頭の種牛**、**8頭の肉牛の合計27頭**が来年の5月末の申込に向けて選抜が進められていくことになります。今後とも、日野郡各町から候補牛が選定され全国大会へ出場できるよう、皆様のご支援、ご指導よろしくお願ひします。

※「全国和牛能力共進会鳥取県大会（通称：全共）」は、全国の優秀名和牛が5年に一度、一同に会してその優劣を競う全国大会で、「和牛のオリンピック」とも称されています。開催は、米子市、境港市、大山町において平成19年10月11日から14日まで開催されます。

西部農協管内取組状況

（平成18年8月20日現在）

	取組状況
1区（若雄）	・ 出品候補牛3頭が育成中 （日南町・日野町）
2区（若雌の1）	・ 出品候補牛選定中 （条件：平成18年5月12日～8月11日生）
3区（若雌の2）	・ 出品候補牛選定中 （条件：平成18年2月11日～5月11日生）
4区（系統雌牛群）	・ 「しば系」6頭若雌が育成中 （日南町・日野町・伯耆町）
5区（繁殖雌牛群）	・ 「平茂勝」系6頭雌を選定 （日野町・江府町・伯耆町）
6区（高等登録群）	・ 3セットを選定（8/26で2セットへ） （日野町・江府町・伯耆町）
7区（総合評価群）	・ 種牛群：出品候補牛選定中 ・ 肉牛群：出品候補牛2頭肥育中（伯耆町）
8区（若雄後代検定牛群）	・ 管内候補牛該当なし
9区（去勢肥育牛）	・ 「天保院斗」出品候補牛7頭肥育中（大山町・伯耆町） ・ 「第2富士茂勝」出品候補牛1頭肥育中（伯耆町）

問い合わせ先

農林局農業振興課
電話 0859-72-2005
担当 小松 弘明

驚愕!!**梅雨前線豪雨****郡内に大きな被害**

7月17日午前6時頃から降り始めた雨は、19日午前5時頃までに、日南町上萩山区では、通算雨量420ミリ、1時間当たり最大40ミリを記録するなど、日南町を中心とした近年にない豪雨となりました。

江府町では6世帯に避難勧告が出されたほか、3町で18世帯の方が自主避難されました。また、28戸で床上下浸水の被害がありました。



一般国道180号（日野町福長地内）

公共土木施設では、国道180号の日野町福長で路肩が崩壊するなど管内の24箇所で全面又は片側通行止となりました。また、日南町矢戸や日野町金持などでは、土石流が発生し住宅への浸水等の被害を及ぼしたほか、民家の裏山の崩落等も多数発生しました。



法面崩壊した水田（日南町福寿実）

農林関係では、水路や農道、林道をはじめ、水田やハウス、取水堰等まで被害が広がり、特に日南町では、水路や水田の法面崩落が多数発生するなど大きな被害を受けました。

県では、9月議会に災害復旧等に係る補正予算を提案しており、10月中旬に行われる国の災害査定終了後、順次復旧することとしています。

今後、台風シーズンを迎え、被災箇所等へは近づかないようにしてください。

また、災害が発生した場合は、最寄りの役場又は総合事務所へ御連絡ください。



土石流が発生した日野町下菅地区

日野総合事務所管内の被災状況

家屋等の被害

被害の状況	世帯数	備 考
床上浸水	1	日野町
床下浸水	27	日南町16、日野町4、江府町7
避難勧告	6	江府町
自主避難	18	日南町8、日野町8、江府町2

農林業関係

(単位:千円)

	件数	金額	備 考
水田	85	122,800	畦畔崩壊、土砂流入
農道	21	60,550	崩壊
水路	42	67,700	土砂崩落、崩壊、陥没
頭首工	10	41,100	流出、破損
ため池	1	5,000	堤体損壊
林道	42	113,160	崩壊、浸食、陥没
作業道	23	8,140	
計	224	418,450	

土木施設関係

(単位:千円)

	件数	金額	備 考
道路災害	30	428,000	
河川災害	76	787,000	
砂防災害	9	10,500	
緊急砂防関連	10	2,033,000	
緊急治山関連	3	183,000	
斜面崩壊	10	45,800	人家の裏山
計	138	3,487,300	

問い合わせ先

県土整備局 河川砂防課
 電話 0859-72-2065
 担当 金田 隆志

国道482号下蚊屋バイパス Ⅰ期区間 供用開始

一般国道482号の江府町下蚊屋地内で、平成6年からバイパス工事（全体計画：延長2.5キロメートル・総事業費52億円）に着手して、整備してきました。このうち、集落を迂回するⅠ期区間（集落入口から広域農道までの区間1.0キロメートル）がこの度完成し、8月10日正午に供用開始しました。
これを記念して、当日の午前には竣工式が行われ、出席者全員で歩き初めを行いました。



バイパス遠景



竣工記念ウォーキング（8月10日）

今後は内海峠に向かって、Ⅱ期区間（広域農道から県境までの区間）を整備します。この区間は急勾配、急カーブの連続で、冬の交通の難所であり、平成22年度完成を目標に施工します。
このバイパスが完成すると、交通の障害区間が解消され観光振興等に寄与するものと期待されます。

なお、工事中は何かとご迷惑をおかけすることと思いますが、引き続きご協力をよろしくお願い致します。

問い合わせ先

県土整備局 道路整備
電話 0859-72-2062
担当 河原 正史

二〇〇六年七月豪雨水害対応と被災地支援

日野ボランティア・ネットワーク 山下弘彦さんからの報告

日野町各所で水路があふれ、床上浸水も

七月十八日夜、根雨地区では激しい雨で水路が増水し、水路に流れ込む谷川は奔流となつて石が音を立てて転がっていた。

水路が溢れたため、役場職員に協力して土嚢を近所の水路の脇や浸水の恐れがある高齢者宅に積んだ。深夜、日野川でダムの放流を知らせるサイレンが鳴るなど、不安な一夜となった。

翌朝、雨は治まったが、金持地区の居室一軒が土石流で床上浸水したため、集落の方、町役場職員、町社会福祉協議会職員、集落外のボランティアが集結、協力して復旧作業に当たった。裏山から流出した土砂はバケツリレーで撤去、水に浸かった家財道具や畳を搬出し、床板を剥いで床下の泥もかき出した。

二日間約三十人ずつ参加し、乾燥・消毒ができる段階まで作業は終わったが、再び生活できるまでの道のりは長い。高齢女性も一緒に汗を流されていたこと、恐縮される家の方に一番大変な目に遭ったのはあんな



だから気にするな」と近所の方が声をかけていたのが印象深かった。今回は居室の被害軒数が少なかったため総力を挙げて復旧に当たれたが、被害が拡大した場合にどう対処するか再確認の必要性を感じた。

出雲市、鹿児島県北部支援活動での学び

今回の災害対応は近隣で終わらなかつた。関係者から、島根県出雲市の川の上中流域で大きな水害・土砂災害が発生し、ボランティアセンターも十分機能していないので運営支援が必要との連絡があり、現地に向かうことになった。

出雲市では、行政・社協・民間の三者がボランティアセンターで支援活動に取り組んでいたが、被災規模に比して、スタッフ・資材・送迎車両・ボランティア数などが不足していた。ノウハウが無くやり繰りでのいでの感否めず、また、センターが被災現場から離れているという非効率な面もあった。

そこで、他被災地の事例を話しつつ、要請された作業をこなすだけでなく、被災者に寄り添って必要な支援をするセンターとして機能するよう、改善提案を行った。日野ボランティア・ネットワークからはスタッフ、ボランティアとして計六人が参加し、それぞれの立場で経験を活かした活動に取り組んだ。

その後、鹿児島県に向かい、全国社協派遣の他メンバーの支援活動に合流した。鹿児島では、家が流されたり二階が床上浸水になっていたりとさらに甚大な被害を目の当たりに

した。大きな被害が六市町に渡っていったため分散して支援したが、地元ボランティアが外部からの協力を抵抗を持つ傾向があつて「被災者のことを考えるとこう改善した方がいいの」と思いながら口を出せない残念な状況にも遭遇した。

このようなことは日常から外部と開かれた関係づくりをしておかねば解決しない。日ごろの取り組みから留意していきたい。

私たちは県西部地震で、災害対応の経験は他被災地の支援という形で生かしていく必要があるということを実感した。被災地は常に慣れない災害対応に混乱し、被災者支援がうまく機能しない場合も多いからだ。当初はできる範囲での支援をしていたが、各地ですらに経験を積むうちに全国的な動きも期待される状況になっている。こうした経験を県内でも、地域防災力の向上、そして万一の場合のよりよい災害対応に生かしていきたいと考えている。

●日野ボランティア・ネットワーク事務局

〒689-4503

日野郡日野町根雨1300-1

日野町山村開発センター2階

Mai:hinovnet@infosakyu.ne.jp





大切です！

生活リズムや家庭・社会のマナー

家族の一員としての仕事・コミュニケーション

～アンケート結果から 日野郡の取り組みとして～

今回は、「家族の一員としての仕事・家庭内のコミュニケーション」について考察しました。子どもができる家での仕事の内容は、学年が上がるほど増えると思うのですが、実際に仕事がある子どもは学年が上がるほど逆に減っています。

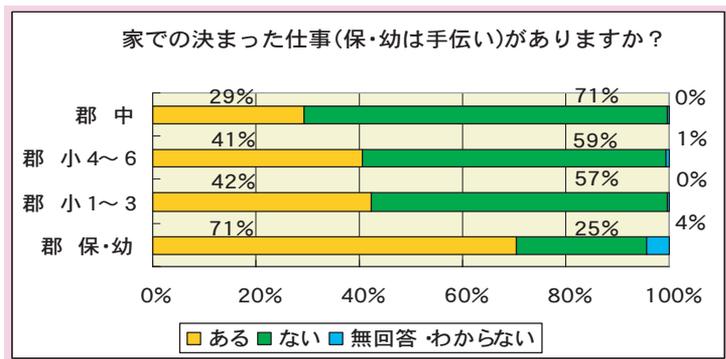
また、別の資料ですが、高校生の意識では親に誉められた経験が少ない（あるいは誉めているが伝わっていない）ことわかります。

日々の仕事や学習・諸活動で時間がないのは、大人も子どもも同じこと。家族の一員としての仕事をきちんとさせる・することが必要です。仕事が習慣化したり仕事の手順などが上達したりしたことを誉め、子どもの満足感や達成感をふくらませること、「ありがとう」と感謝の言葉かけをしたり、ときには一緒に作業したりする中で、お互いコミュニケーションを深めることが大切です。

アンケート結果のように、家庭で一番楽しい時が「テレビ・ゲーム」というのはあまりにも悲しいです。家庭内の仕事に限りませんが、まずは親子が「一緒にすること」を今より一つ増やすことから始めてみてはどうでしょうか。

		よく話す	よく誉める	%
父	日本	38	17	
	アメリカ	35	40	
	中国	34	35	
	韓国	31	38	
母	日本	67	27	
	アメリカ	66	62	
	中国	57	48	
	韓国	69	56	

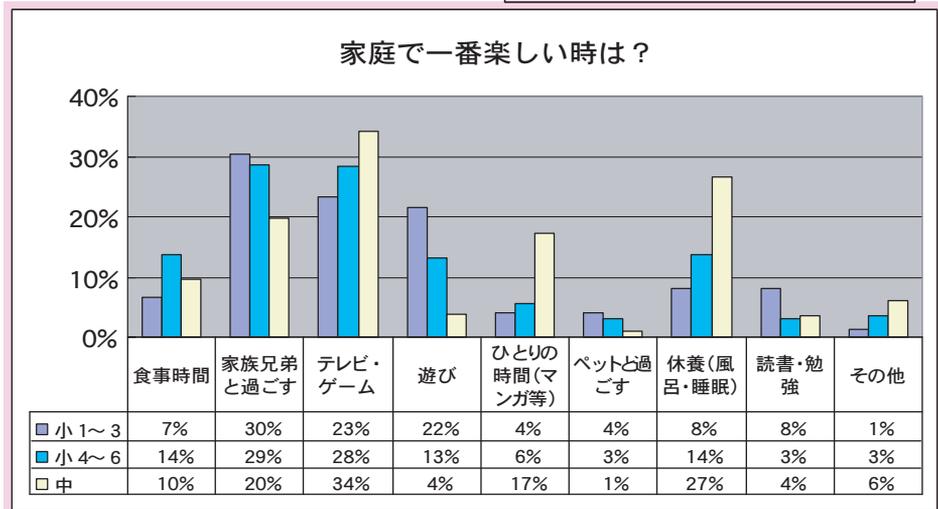
(財)日本青少年研究所
「高校生の友人関係と生活意識」
2005年10～12月調査



2005年11月 日野郡アンケート調査

問い合わせ先

担当 清水 和祥
電話 0859-72-2075
西部教育局 日野郡地域教育担当



◆第3期委員の

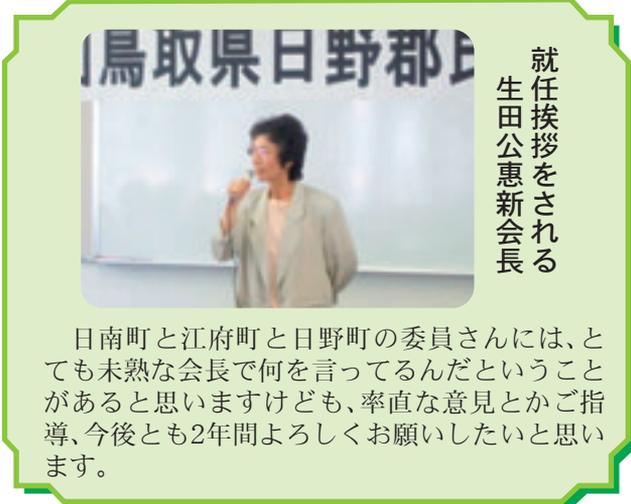
「第1回鳥取県日野郡民行政参画推進会議」を開催しました。

日時 平成18年8月6日(日)
午前10時～午後4時
場所 日野総合事務所大会議室

今回は、第3期委員の第1回目の会議でした。
午前中の会議で、委員の互選により、日野町の生田公恵(いきたきみえ)委員が新しい会長に選出されました。会長代理は江府町の宇田川潔委員となりました。

午後からは片山知事も参加し、県政についての講話や各委員の会議参加の抱負を聞き、意見交換を行いました。
今回委員からあつた主な意見は、日野総合事務所のホームページに掲載します。意見に対する処理方針については、本誌次号以降に掲載します。

【次回会議は…】
日時：10月7日(土) 10時から
場所：日野総合事務所大会議室



日南町と江府町と日野町の委員さんには、とても未熟な会長で何を言ってるんだということがありますが、率直な意見とかご指導、今後とも2年間よろしくお願ひしたいと思います。

(知事発言から)

日本の今の行政はチェック機能が不足している。夕張市が財政再建団体になったのもだれもチェックしていなかった。議会も、銀行も、国や道庁も、住民もチェックしていない、知らなかったからあんなことになった。行政には必ずチェックが必要。

郡民会議ではチェックというのをぜひ頭の中に入れておいていただきたい。

日野郡内の県の行政のずれや無駄遣い、何を優先すべきなのか、もっと安くなるやり方があるのではとか、バランスを欠いていないか等。また職員のあり方や姿勢とか働きぶりとかについてもぜひチェックしていただきたい。

それぞれの地域の課題、県政に関係する地域の課題というものを取り上げて、こんなことが課題であるとか、こんなことをすべきとか、どしどし言っていただきたい。



郡民会議の議事録は日野総合事務所県民ホールで閲覧いただけるようにしております。

◆第2期委員の第7回会議の意見に対する県の処理方針等について
平成18年6月3日(土)に開催した「第7回鳥取県日野郡民行政参画推進会議」での意見に対する県の処理方針等については、次ページ以降に掲載しております。

問い合わせ先

県民局県民課 担当 三木
電話 0859-72-2084

第7回日野郡民行政参画推進会議での意見について

(平成18年6月3日開催)

1 工事設計への県の関与について

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>公共工事をされるに当たって、往々にして発注された後、現地と図面が合わない、「何故こんな無駄なものまでつくるのか」「こういうのが欲しいのに何でつくってもらえないのか」というのが往々にあるように感じている。</p> <p>設計を立案される際には、担当の方なりが現地を見て確認して、コンサルに発注業務を委託するなどの方法があると思うが、そのときにやっぱり県の方でも立ち入って、ここをこうした方がいいんじゃないかというような案も出して、これからの工事を発注してほしいと思う。</p>	<p>公共工事の計画は、その施設の目的が達せられるよう現地調査の結果や地元要望を取り入れながら、種々の土木構造物の規則・基準にあった計画を図面上に作成し、素案としている。この素案を地元説明会で説明し、そこでの意見を加えて修正し、必要に応じて現地の再調査をした上で工事図面を作成を行っている。</p>	<p>工事の段階でさらに地元からの追加の意見や現場での不整合が生じる場合もあり、設計変更に対応できる場合は設計変更をすることとしている。</p> <p>具体的な工事について、お気づきの点があれば、お知らせ願いたい。</p>

2 県立自然公園について

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>日野郡には奥日野県立自然公園、あるいは国立公園といったものがある。県土整備局やあるいは県民局がああだこうだといって予算、改修、あるいはいろんなことで予算をああだこうだといって言うのではなく、整備管理も含めて、県の所管する一つの自然公園としての管理・運営、そういったものがなされればよいと思っている。</p>	<p>施設整備及び施設管理は、日野県土整備局又は町が実施し、施設整備に必要な許認可事務を日野県民局が行っている。</p>	<p>自然公園を活かして魅力ある地域づくりを行うことは、日野総合事務所のミッションである「この地域に住むことの豊かさを、住民自身が感じ、人にも伝えていくことができる地域づくり」に合致するものと考えている。</p> <p>ミッションを実行するために、日野総合事務所の各局が連携することは当然のこととして、総合力を発揮できる新たな組織体制づくりの検討を行いたい。</p>

3 郡民会議の委員の年齢枠について

会議意見	現状・経過	処理方針等																																																																					
<p>郡民会議の委員で40歳未満枠が優先的にある。この日野郡ということ考えると、45歳以下の枠をもう一つ設けていただければ、もう少し若い意見も活性化できるのではないかと思いますので、検討していただきたい。</p>	<p>郡民会議においては、応募者のうち40歳未満を優先的に就任していただく枠を設けている。これは、委員の出身地域や性別と同じく年齢についても偏らないようにすることを目的としたものである。</p> <p>一方で日野郡のように高齢化が進んでいる地域では、地域の活性化には若い方の積極的な活躍がとりわけ必要であり、郡民会議での経験等を通じて地域の活性化に主体的に関わっていただければという期待も持っているところである。</p> <p>郡民会議における第1期から第3期のの応募者及びそのうち委員として就任された方の年齢構成を、現状の優先枠である40歳未満の方、御意見の40歳以上45歳以下の方、46歳以上の方に整理したのが下表である。</p> <p>直近の第3期の委員の応募及び委員の就任状況をみると、45歳以下の方は、応募された方はほとんど委員に就任されている状況であるし、また応募者全体が郡民会議が設置された当初に比べ、期を経るごとに少なくなり、郡民の方々の関心が低くなっている状況である。</p>	<p>応募者が減少している現状においては、45歳以下の応募者のほとんどが委員に就任されていることから、新たに45歳以下の枠を設けることは考えていない。</p> <p>郡民会議に対する郡民の方の関心の深まりや参画意識を高めることにより、若年層の応募者の増加を図るべきと考える。</p> <p>どのような会議にすれば、多くの郡民の方々の関心や参画意識を高め、若年層の意見により活性化させることができるのか委員と一緒に検討することが必要であると考えている。地域の皆様方の幅広いご意見やご提言をお願いしたい。</p>																																																																					
日野郡民行政参画推進会議の応募者及び委員の年齢構成																																																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">年齢区分</th> <th colspan="2">応募状況</th> <th colspan="3">委員就任状況</th> </tr> <tr> <th>応募者人数</th> <th>構成比</th> <th>当選者人数</th> <th>構成比</th> <th>当選率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">第1期 (任期:H14.10.9 ~H16.12.31)</td> <td>40歳未満</td> <td>10</td> <td>16.67%</td> <td>7</td> <td>23.33%</td> <td>70.00%</td> </tr> <tr> <td>40~45歳</td> <td>11</td> <td>18.33%</td> <td>6</td> <td>20.00%</td> <td>54.55%</td> </tr> <tr> <td>46歳以上</td> <td>39</td> <td>65.00%</td> <td>17</td> <td>56.67%</td> <td>43.59%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第2期 (任期:H17.1.1 ~H18.7.8)</td> <td>40歳未満</td> <td>1</td> <td>3.23%</td> <td>1</td> <td>4.17%</td> <td>100.00%</td> </tr> <tr> <td>40~45歳</td> <td>9</td> <td>29.03%</td> <td>5</td> <td>20.83%</td> <td>55.56%</td> </tr> <tr> <td>46歳以上</td> <td>21</td> <td>67.74%</td> <td>18</td> <td>75.00%</td> <td>85.71%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第3期 (任期:H18.7.9 ~H20.7.8)</td> <td>40歳未満</td> <td>5</td> <td>18.52%</td> <td>5</td> <td>20.83%</td> <td>100.00%</td> </tr> <tr> <td>40~45歳</td> <td>4</td> <td>14.81%</td> <td>3</td> <td>12.50%</td> <td>75.00%</td> </tr> <tr> <td>46歳以上</td> <td>18</td> <td>66.67%</td> <td>16</td> <td>66.67%</td> <td>88.89%</td> </tr> </tbody> </table>		年齢区分	応募状況		委員就任状況			応募者人数	構成比	当選者人数	構成比	当選率	第1期 (任期:H14.10.9 ~H16.12.31)	40歳未満	10	16.67%	7	23.33%	70.00%	40~45歳	11	18.33%	6	20.00%	54.55%	46歳以上	39	65.00%	17	56.67%	43.59%	第2期 (任期:H17.1.1 ~H18.7.8)	40歳未満	1	3.23%	1	4.17%	100.00%	40~45歳	9	29.03%	5	20.83%	55.56%	46歳以上	21	67.74%	18	75.00%	85.71%	第3期 (任期:H18.7.9 ~H20.7.8)	40歳未満	5	18.52%	5	20.83%	100.00%	40~45歳	4	14.81%	3	12.50%	75.00%	46歳以上	18	66.67%	16	66.67%	88.89%
	年齢区分	応募状況			委員就任状況																																																																		
		応募者人数	構成比	当選者人数	構成比	当選率																																																																	
第1期 (任期:H14.10.9 ~H16.12.31)	40歳未満	10	16.67%	7	23.33%	70.00%																																																																	
	40~45歳	11	18.33%	6	20.00%	54.55%																																																																	
	46歳以上	39	65.00%	17	56.67%	43.59%																																																																	
第2期 (任期:H17.1.1 ~H18.7.8)	40歳未満	1	3.23%	1	4.17%	100.00%																																																																	
	40~45歳	9	29.03%	5	20.83%	55.56%																																																																	
	46歳以上	21	67.74%	18	75.00%	85.71%																																																																	
第3期 (任期:H18.7.9 ~H20.7.8)	40歳未満	5	18.52%	5	20.83%	100.00%																																																																	
	40~45歳	4	14.81%	3	12.50%	75.00%																																																																	
	46歳以上	18	66.67%	16	66.67%	88.89%																																																																	

4 地産地消の「地産」の定義について

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>そば道場たたらやで土地のソバ粉を使ってそばを打っているが、つなぎにはどうしても小麦粉を使わなくてはいけない。小麦粉の地産といえはすごく高く、料金的にとってもペイする値段ではない。</p> <p>実は県で行うイベントにある物を出そうとしたら、これは地産ではないですねと拒否された。私どもは一生懸命地元のものを使ってやっていますよという思いがあるが、100%地元のものではないなという。</p> <p>どの辺までを地産という表現でとらえたらいいのかなということの定義づけが必要ではないか。これはいろんなことであるんじゃないかなと思う。</p>	<p>県で行うイベント「とっとり大地と海のフェスタ」の出展者については、要領により、実行委員会の会員及び各市町村（各市町村長が即売会の目的に照らして適当と認めた者を含む。以下同じ。）等々となっており、出展者の選定は、原則、市町村の判断となっている。</p> <p>また、地産地消活動は、「県内」の農林水産物の購入が可能な時期（旬）に県産品を使用して頂き「地元の新鮮でよいものを食べる」ことである。</p> <p>しかし、「地産」については、小麦のように地元での生産ができないものについては、地元産使用を進めることが難しいのが、現状だと認識している。</p>	<p>出展者の選定は市町村長の判断ではあるが、地産地消活動は、県内産の農林水産物が使用可能な時期に地産の原材料を使用したメニューを提供していただくことであり、100%地産でなければ地産地消でないという意味ではない。「地産」の定義について、分量等による一律的なことは考えていないが、地産地消の趣旨を市町村に伝えていくことにより適切な判断がなされるものと考えている。</p>

5 臨時講師の積極的活用について

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>今、全国的に教員の給料が高いと新聞紙上で騒がれているが、非常に実力を持った人もいますので、効率のいい臨時講師を今後どしどし採用、活用された方がより充実した内容の教育ができるのではないかなと思う。</p>	<p>子どもたちに充実した教育や指導を行うためには、高い資質と能力を有している教員を確保することが重要。講師という職は、正職員の不足を補うものであり、基本的には正職員の配置を優先しているところである。</p>	<p>全ての教科で正職員の配置が困難な場合や、教職員の配置をより充実する必要がある場合等今後も想定されるところであり、講師や社会人講師の有効な活用や配置に努める。</p>

6 検挙情報について

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>地区で犯罪が起きたとき、防災無線でお知らせがあるが、その後、検挙されたかどうかわからない。今、駐在所も減っており、すごく不安である。全部ではないが、検挙されましたかという情報がある程度欲しい気がするが、いかがか。</p>	<p>事件が発生した場合、事件に応じて被害の拡大防止と、犯人検挙に結びつく情報の提供を求めため、地域住民に対し、防災無線等を活用した刑事広報を行っている。</p> <p>今回の件については、車上ねらい、忍込み事件が発生したことから、上記理由により4月7日、8日、10日、14日に防災無線により広報を行った。</p> <p>犯人を逮捕した場合、原則的にはテレビ、新聞等のマスメディアに報道資料を提供するなどし、広く広報活動を行っているところであり、今回、防災無線により広報した事件についても、犯人を逮捕した後、報道機関に資料を提供した。</p> <p>さらに、黒坂警察署においては、生山駐在所が犯人が検挙された旨のミニ広報誌を作成し、住民に配布している。そのほか、ケーブルテレビに生山駐在所員が出演し、犯人を検挙した旨の広報を行った。</p>	<p>今後も事件が発生した場合は、被害拡大防止等のため、防災無線等の広報媒体を適切かつ有効に活用するとともに、犯人を検挙した場合も同様に、適切な広報活動を行うこととしている。</p>

日野高校



今年の夏は例年にも増して猛暑となりました。そんな中頑張っている日野高校の各部活動の「真夏の貴重な体験」の一部を紹介いたします。

全国のレベル

郷土芸能部 樋口 春菜

私達は、8月5、6日に京都で行われた全国総合文化祭に行きました。初めての全国大会に私達はどんな高校が出るのか、どんな演技をするのか、そのことでドキドキしていました。

3日にリハーサルがあつて、私達の前にしていた高校がうまくて私達は本当に本当にここに来てよかったのかと思ひました。会場に行くともう練習をしている高校があつてそれを見ても音も手の動きもあつていてさすが全国は違うなと思ひました。自分達のリハーサルも終えてあとは本番でいい演技をやるだけでした。

5日は朝からずつと会場では高校の演技を見ました。どの高校も国立劇場に出場するために練習をしてきたことが演技からわかってきました。どの高校もレベルが高く、私は自分達のレベルの低さがわかりました。この日6時から私達の演技をしました。演技をしている時に、観客の方が拍手をしてくれてうれしかったです。

6日もほかの高校の演技を見ました。私達の演技は見る人にはどのよ

うにうつったかわかりませんが、私達の中ではいい演技になったと思います。残念ながら国立劇場には行けませんでした。拍手をもらえる演技ができたことをうれしく思います。後輩にはみんな協力して私達が行けなかつた国立劇場に行つてほしいです。



郷土芸能部

郷土芸能部顧問 林原 美幸

8月5、6日に京都府城陽市にて全国高校総合文化祭が行われ、日野高校郷土芸能部も県代表として出場しました。

顧問でありながら、今年日野高に来て初めて郷土芸能部という部活があることを知った私にとつて不安もあれど、楽しみにしていることでした。

3日に鳥取を出発し、リハーサル。4日は出場校の生徒交流会でマジックショーや各県のご当地クイズなどがあり、生徒に交じつてつい夢中になつてしまいました。

発表の5日、午前は他校の発表を見たのですが、とても魅力的で面白く、身を乗り出して見入つてしまいました。動き一つ一つの中にそれまでの大変さや練習量の多さが垣間見れた気がして、自分が

もう一度高校生に戻れたら...と思うほどでした。生徒も本番を控え緊張しながら楽しんでいました。

本番、いつも笑顔でじゃれ合っている生徒も緊張かステージの雰囲気を感じてか、引き締まった表情で舞台袖に立っていました。舞台裏でサポート役の私も作り笑顔でした。

結局、目標としていた国立劇場の舞台に立つことは叶いませんでしたが、終了後は皆がとても良い顔をしていました。全国という大会の雰囲気を感じ、次の公演に対する心構えが少しでも変わったのではないかと思います。

私は改めてこの素晴らしい会場に連れてきてくれた生徒に感謝し、これからの力及ぶ限り助けていきたいと思います。



全国総合文化祭京都大会に出場して

弦楽合奏部 林原麻理恵

私達弦楽合奏部は、8月3日の全国高等学校総合文化祭、器楽・管弦楽部門に鳥取県合同オーケストラ

ラとして鳥取西高、倉吉東高、米子東高と合同で出場しました。全国大会という大きなステージに立ち、沢山の観客に聴いていただくという事で演奏前から緊張していました。この日の為に、私たちは昨年度から練習をしてきました。曲は「ブラームス作曲の「大学祝典序曲」です。この曲は今まで弾いたことのないような難しい曲で、大変な思いもしましたが、悔いの残らないような演奏にしたいと思い、一生懸命練習に取り組みました。参加各校との合同練習会も数回催され、その度に緊張感が高まり、良い刺激が与えられました。

当日は出番が早いということもあり、慌ただしい中本番が始まりました。演奏を始めると、これまでの練習の事などが頭に浮かび、気が付くと演奏も終わりに近づいていました。一生懸命取り組み、演奏することが出来たと思ひます。結果的に非常に良い演奏ができたのではないかと思います。

京都での3日間は私たち弦楽合奏部にとつて得るものが多く、思い出深いものとなりました。



夏！ 貴重な体験！！

ゼロmから一七二九mへ！

スキー部 山形 陽子

私達スキー部は人数は少ないが、笑顔の絶えないとても明るい部だ。今は駅伝の練習をして、その後にはスキー部としての練習をしている。練習はつらいけれどたまに変わった事もするので楽しい。

スキー部の合宿で大山に行った時は、学校ではしない事をする。その中で一番大変だったのは海拔0メートル日吉津の港から大山頂上まで駆け上った事だ。登山道までは走って行けるがそこから先は足が上がりたくない。だんだんペースが落ちてきたが、みんなでかけ声をかけ合いながら頂上を目指した。夏の間の練習や合宿で学んだ事、得た事はたくさんある。それらはこれからの自分にとってとても大切なものになるはずだ。

学ぶ事はたくさんある部だが、やはり練習が面白いイメージがあるのか入部する人は少ない。だから駅伝もスキーのリレーも人数がたらず大会に出場できないかもしれない。それでも私達は頑張っ練習をしていく。それぞれの大会に出場できることを願っている。



射撃大会に参加して

射撃部 宮本 幸志

私は、射撃部に入学して二年目になります。昨年は大きな大会に出場したのは二回しかありませんが、今年は中国選手権大会、他の部のインターハイに相当する全国高校ライフル射撃選手権大会、国体中国ブロック予選兼中国選手権大会に出場できました。

最初にあつた中国選手権大会では練習の成果を発揮できず十二位に終わってしまいました。そこで自分の現在の實力を知り、次の自分の目標をきちんと設定して練習することができました。そうして臨んだ全国大会でしたが、出場者四百名の雰囲気は飲まれ、思った以上に緊張しました。十分な射撃姿勢をとれず、思い通りの射撃ができなかったもののなんとか平均的な点数は出すことができました。しかし、全国の壁の厚さを痛感したのもこの時でした。そして、この借りは国体でと臨んだ国体中国ブロック予選兼中国選手権大会では、今までのチームライフルからエアライフルに種目を変えて出場することにになりました。この競技については特別な許可が必要のために、実際に練習ができるようになったのは、大会の三週間前でした。不完全な状態で出場した大会での成績は、中国選手権では二位になったものの、国体中国ブロック予選の方では四位に終わってしまい、国体への出場権はわずかな差で得られませんでした。今ま

での最高得点を出すことができ嬉しい反面、あと少しで国体出場を逃したとても悔しさの残る大会でもありました。

今年出場できる大会は、あと残り少なくなりましたが、この悔しさを胸に、今、毎週土・日は射撃場に通ってエアライフルの練習を続けています。来年はこの練習が実を結び、国体で必ず最良の成績が出せる事を信じて…。



県大会を抜け中国大会へ

ソフトテニス部 西村 亮佑

僕たちは今年中国大会に参加してみても大きな経験をすることができました。

まず県大会の一回戦で去年負けた相手との試合になり絶対に負けたくないという思いで頑張り④対0で勝つ事が出来ました。この時に先輩達が負けてしまっていたので、先輩達のためにも絶対に負けたくないと思ひ二人で「絶対に次勝つぞ」と自分達に言い聞かせながら二回戦の松蔭戦にのみまされた。この試合はもつれて2対2の

接戦になりました。この時に練習の時から先生に言われていた「相手に勝ちたいという気持ちよりもこの相手に負けたくないという気持ちを持って強くなれ」という言葉を思い出して一生懸命頑張りました。試合中に先輩達の為にもと何度か思いながら頑張り④対2で勝つ事ができました。この時は本当に嬉しかったし、先輩達の為になれて本当によかったです。そして中国大会に出れることになりました。

中国大会では、一回戦に岡山南の一番手と当たり0対④で完敗でした。しかし、この0対④で負けた事でいろいろ感じることもあり少し成長できたと思います。この経験を生かして来年こそはインターハイに出場して少しでも上に行けるように頑張っていきます。これから今まで以上に練習を頑張っチーム全体で団体戦での上位を目指していきます。



消費生活センターからのお知らせ



「点検商法」にご注意ください！

ある日突然、「ただ今、床下湿気の無料点検キャンペーン中です。」と言って、作業服姿の男性二人が訪問してきた。

家族に相談してみなければ分らないと断つたが、強引に床下に潜り込み、「台所と洗面台部分の床下がまるで水溜りのようになってる。このままでは家が倒壊してしまう。」と言われてとても不安になった。さらに、「今日がキャンペーンの最終日。今日中に契約すれば、普段より安くできる。」と言われて、慌てて床下換気扇の契約をした。

しかし、高額な上に効果がよく分からない。家族からは「だまされている」と言われるのだが…。

相談事例

これは、無料点検を名目に販売目的を告げないで家族の留守中や一人暮らしの高齢者に近づいて不安をあおり、不要なものを売りつける「点検商法」の事例です。

この他にも、シロアリ駆除、排水管の清掃などの点検を装って様々な商品を売りつける手口があります。

注意点

- ・ 不必要な場合には、きっぱりと断りましょう。
- ・ 「点検だけならいいだろう」という考えはトラブルのもとです。
- ・ 業者の説明をうのみにして即断しないで、家族に相談して、信頼のおける地元業者等の専門家にもう一度調べてもらってから、本当に必要なものかどうか判断しましょう。
- ・ 訪問販売で契約した場合は、クーリング・オフ（無条件解約）の対象となりますので、契約書面を受け取った日から8日以内に必ず書面で解約を申し出ましょう。

相談窓口

業者の説明に不審な点があったり、トラブルになりそうな場合には、お早めに消費生活センター、警察署、町役場等にお気軽にご相談ください。
鳥取県生活環境部消費生活センター 西部消費生活相談室
米子市末広町294 電話 0859-34-2648・2668



黒坂警察署からのお知らせ

『秋の全国交通安全運動』実施中です！

9月21日（木）から9月30日（土）までの10日間、秋の全国交通安全運動を実施中です。

《運動のスローガン》

身を守る 夜道にくつきり 反射材

※運動の重点項目

- ☆高齢者の交通事故防止
- ☆夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故防止
（特に、子どもと高齢者を中心として）
- ☆後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ☆若者の交通事故防止

振り込め詐欺・悪徳商法にご注意を！

平成18年上半年期、黒坂警察署に寄せられた相談件数は、135件（前年同期比+23件）でした。中でも、「支払い督促状」、「最終通告書」などを送り付ける、架空請求事犯の相談が依然として多く、また、最近では住宅リフォーム工事等の訪問販売に関する相談も増えてきています。皆様も、この様な事案の被害に遭わないために、次のことに気をつけましょう。

振り込め詐欺対応法

- ★身に覚えのない請求には応じない
- ★こちらから相手の連絡先へ電話などしない
- ★お金を振り込む前に家族・親戚・警察へ相談する
- ★家族のことに関する要求は必ず本人に確認する
- ★融資前に振り込み要求してくる融資の話には注意する

悪徳商法撃退法

- ★「相手の訪問目的」「相手の身分」を必ず確認する
- ★不必要な勧誘であれば、相手の話に耳を貸さない
- ★不用なものは、「いりません。帰って下さい。」とはっきり断る
- ★納得して契約購入する時は、「契約書（領収）」をもらう

※黒坂警察署の警察安全相談窓口

代表電話「0859（74）0110」



日野郡 新そばまつり 主催 日野郡そば研究会

今年も日野郡の新そばが収穫される時期となりました。当研究会では、この美味しい新そばをいち早く味わっていただきたく、この時期に合わせ恒例の新そばまつりを開催します。日野郡内にあるそば店が出店し、地元産の新そば粉を用いた自慢のそばを販売します。その他にも一般参加による素人そば打ち大会やちびっ子そば早食い競争などの楽しいイベントも行われます。そば好きの方はもちろん、是非とも日野郡の秋の味覚を楽しみにご来場ください。

【開催日時・場所】

■ 11月5日(日) 午前10時～午後3時

日野郡江府町江尾 江府町防災情報センター(江府町中央公民館)

■ 駐車場は上の段広場臨時駐車場または江府町役場をご利用ください。

●素人そば打ち大会参加者募集!!

募集人数 名程度 年齢問いませんがそば愛好者の方でそば打ちを職業としていない方に限ります。

表彰は次のとおりです。

■ 最優秀賞1名

■ こねの部、のしの部、切りの部の3部門の

優秀者

※そば打ち道具はこちらで準備いたしますが

持参されてもかまいません。

日野郡 新そばまつり

主催：日野郡そば研究会



日時：11月5日(日)10時～15時
場所：江府町防災情報センター

問い合わせ先

県民局県民課
電話 0859-72-2086
担当 足立啓作



昨年の素人そば打ち大会

生田長江シンポジウムへお越しください!

明治から大正期。文芸評論家・思想家として活躍した生田長江は、日野町貝原出身です。

長江は、「平塚らいてう」たちの始めた女性解放運動の結社「青鞥」の名付け親であり、またニーチェを初めて日本に紹介した翻訳家でもありました。文芸評論家、劇作家としても活躍し、日本の文壇に大きな影響を与えた人物です。

私たちの故郷の生んだ偉大な先達「生田長江」の功績や人物像を再発見するシンポジウムを開催し、特別展示を行います。みなさま是非、この機会に「生田長江」に触れてみませんか？



生田長江と子 まり子

【シンポジウム】

日時

10月29日(日)

13時30分～15時30分

場所

日野町文化センター

ホール森の音楽隊

(JR根雨駅前)

入場無料(事前申込不要)

【特別展示】

日時：10月20日(金)～10月29日(日)

場所：日野総合事務所本庁舎1階・日野町図書館

開庁及び開館時間：

日野総合事務所：20日・23日～27日(8時30分～17時30分)

28日～29日(9時～17時)

日野町図書館：20日～23日・25日～29日(平日9時30分～18時)

(土・日9時～17時)

※県政だより10月号に生田長江
関連記事が掲載されています。

問い合わせ先

県民局県民課
電話 0859-72-2084
担当 宮本佳世子



写真3



写真2



写真1

災害に強い森林づくり

近年、台風、梅雨前線豪雨及び豪雪等により森林被害が多数発生しています。この要因の一つとして、スギ、ヒノキなどの人工林への手入れの遅れが挙げられます。手入れの遅れた不健全な人工林は、林内に日光が届きにくいいため、暗く草も生えず、雨水により表層土が流出してしまいます。(写真1)

また、植栽木がもやしのように細長くなり、外から加わる風、雪などの力に対抗することができにくい状況となっております。

● 早めの間伐を

このような人工林を健全な状態(写真2)に近づけるためには間伐することが必要です。早めに間伐することにより林内に日が差し草木に覆われ、植栽木も肥大成長することで森林の持つ様々な機能が発揮され、災害に強い森林となります。

● 注意点

常時流水があるような沢などに伐採木が放置されると、大水の際に流されるおそれがありますので、間伐を実施するときは沢に倒さないようにしてください。また、沢を塞いでいる倒木等(写真3)があれば片付けておくことが大切です。(片付ける作業が危険である場合は、専門の方に相談してください。)

問い合わせ先

農林局 林業振興課
電話 085917212020
担当 小谷伸一

「日野川の源流と流域を守る会」からのお知らせ

キャラクター募集!

《活動方針》

「日野川の源流と流域を守る会」の活動方針に沿って、流域住民が参加して活動を盛り上げていくにふさわしいマスコットキャラクターを募集します。

上流から下流までの住民が連携し、日野川の源流と流域の自然を守り、より良い環境を育みながら次世代に引き継ぐ。

◆ 応募資格

どなたでも応募できます。

◆ 応募締切

平成18年10月31日(必着)

◆ 募集規定

A4版白色用紙を使用。彩色は自由。作品裏面に作品の説明及び住所、氏名、年齢、職業(または学校名)、電話番号を明記すること。応募点数に制限はありません。

◆ 選考及び発表

選考委員会で審査の上、入賞作品を決定します。平成18年12月(予定)、本人に通知するとともに、「日野川の源流と流域を守る会」の会報で発表します。

◆ 賞金

最優秀賞 1名(賞金3万円)、優秀賞 2名(賞金1万円)

◆ その他

- ・応募された作品は返却しません。入賞作品の著作権は「日野川の源流と流域を守る会」に帰属します。
- ・キャラクターとして使用する際に補正することがあります。
- ・未発表作品に限ります。入賞作品が他の著作権を侵害していることが判明した場合は、発表後であっても賞を取り消します。

◆ お問い合わせ・郵送先

〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨一四〇一
鳥取県日野総合事務所農林局林業振興課内
日野川の源流と流域を守る会 キャラクター係宛
TEL:085917212021
FAX:085917212125
E-mail:taniguchi_s@pref.tottori.jp

日野郡の宝もの

江尾十七夜

(江府町・江尾)

歴史的・文化的資産を訪ねる

500年の伝統を持つ江尾十七夜は、毎年8月17日に開かれます。町内はもとより、県外からも足を運ぶ方があって、沿道は普段にない活気に満ち溢れています。この中で「江尾のこだいど踊り」は、県の無形民俗文化財（昭和49年10月18日）に指定されており、大勢で太鼓



と歌のリズムに合わせて踊るその姿は、独特の雰囲気を出しています。

また、会場付近を流れる船谷川にはとらうろが、日野川を挟んだ久連山には火文字が入り、祭りの風情をいっそう引き立て、最後の締めくくりには花火が打ち上げられます。（十七夜の詳細は江府町役場のHPに紹介されています。
<http://www.town-kofu.jp/>

米 出品募集!

日野川源流米コンテスト

※皆さんのおいしいコシヒカリを出品してみませんか!

○本年も、日野産のおいしいお米をPRするとともに、おいしいお米の安定生産に必要な技術の確立を図るために、米の食味コンテストを開催します。

『出品の条件』

- 品 種：平成18年産の「コシヒカリ」
- 出品範囲：日野郡（伯耆町の溝口地区産を含みます）
- 出品形態：玄米（500g程度）又は、粳（800g程度）
- 添付書類：①出品米を生産した水田の「水稻栽培管理日誌」（鳥取西部農協に提出したもの）がわかるようにして下さい（営農センターへお願いして下さい）。
 ②「自分の稲作へのこだわり」を持っていて、上位入賞の方には、その「こだわり」を聞かせてもらいます。
- 募集期間：平成18年9月15日（金）～10月13日（金）
- 出品場所：日野郡各町と伯耆町の農業担当課
 鳥取西部農協日南・日野・江府・溝口支所
 日南営農センター、日野伯耆営農センター
- その他：後日、出品されたお米を5kg程度買い取りさせてもらえる方（上位入賞された方のお米は実際に食べて判定しますので、お願いします。）

- 食味計の食味分析値で上位のお米を選抜き、実際に食べて一番評価の高いお米を最優秀賞に決定します。
- コンテストに出品されたデータは、今後おいしいお米を作る栽培技術の確立に向けて活用させていただきます。

問い合わせ先

農林局農業振興課
 電話 0859-72-2007
 担当 松原秀樹

アンケートにご協力ください！
 ～みなさまのご意見等お待ちしております～

今回は「日野郡の元気づくり」をテーマにアンケートを実施しました。様々な思いを伝えていただき、ありがとうございます。

元気度を尺度に見た自分たちの地域については、普通と考えられた方が約4割、肯定的、否定的に捉えた方がそれぞれ約3割と大きな偏りはありませんでした。地域のよい点としては、ほとんどの方が、「豊かな自然」と「住民同士が仲良く、おだやかな生活をしていること」を記述されています。古き良き日本の姿が日野郡には脈々と息づいていることが感じられました。

地域の元気のために必要なこととして、半数以上の方が「高齢になっても、障害があっても支援が受けられること」と「住民同士の交流」をあげられています。また、自分たちで行っている元気づくりの取組みとして、ボランティア活動、地域での協議会や会合に積極的に参加しているという回答が多く寄せられました。

行政に対しては、実際に地域に出かけ、対話を通じたアドバイスや適切な助成を要望される意見が多く、今後とも、地域で安心して生活ができる支援施策、地域に根ざした行政を続けていくことの重要性を再確認させていただきました。

※今回のアンケートについて

当事務所では「この地域に住むことの豊かさを住民自身が感じ、人にも伝えてゆくことができる地域づくり」をミッション(使命)の一つとし、日野郡の特色を活かした農林業の実現に向けて、中山間地の豊かな自然の気候を生かした、おいしい農産物の栽培・加工を応援します。

そこで、今回、日野郡のおいしいもち米「ひめもち」で作られる「お雑煮」や、代々伝わるめずらしい地域・家庭料理などをご紹介いただきたいと思えます。

なお、全部の項目でなくても構いませんので、一つでも多くの声をお寄せください。

日野総合事務所各担当課の電話連絡先を一本化しました。
担当課がわからない場合は、代表電話0859-72-0321へ御連絡ください。

日野総合事務所への通報・相談等連絡先

通報・相談等の連絡先		担当事務等	電話 0859-72	FAX 0859-72
県民局	代表電話	総合案内	0321	
	企画総務課	災害対策本部(日野)・庁舎管理・ホームページ等	2070	2072
	県民課	県民の声・県税・パ・スポ・ト地域づくり・商工労働等	2082	
福祉保健局	福祉総務課	福祉・医療・介護保険等	2030	1099
	保健衛生課	保健衛生・環境保全等	2031	
農林局	農業振興課	農畜産物の生産と流通の支援、担い手育成支援	2001	2011
	日野農業改良普及所	農業生産技術、担い手育成、経営支援等(農家指導)	2027	2090
	地域整備課	農業農村整備事業についての相談	2008	2011
	林業振興課	林業関連事業等	2017	2125
県土整備局	建設総務課	工事執行事務等	2041	1398
	維持管理課	道路・河川・砂防施設の維持管理等	2045	
	用地課	道路・河川・砂防工事の用地・補償等	2052	0400
	計画調査課	道路・河川・砂防事業の計画等	2051	
	道路整備課	国道・県道・農道工事等	2050	
	河川砂防課	河川・砂防・治山工事等	2060	

※電話・FAXともに市外局番・局番は0859-72-で共通です。



編集発行：鳥取県日野総合事務所県民局 〒689-4503 日野郡日野町根雨140-1
 TEL 0859-72-0321 FAX 0859-72-2072
 E-mail h-kenminkyoku@pref.tottori.jp URL http://www.pref.tottori.jp/hinosougou/

